

INFOPRO 2011

第8回情報プロフェッショナル シンポジウム — 未来CANから始まる人の輪、情報の力 —

会期 2011年10月27日(木)～ 28日(金)

会場 日本科学未来館 7階
(東京都江東区青海2-3-6)

<http://www.miraikan.jst.go.jp/>

主催 独立行政法人 科学技術振興機構
Japan Science and Technology Agency (JST)

社 団 法 人 情 報 科 学 技 術 協 会
Information Science and Technology Association (INFOSTA)

後 援 専門図書館協議会
特定非営利活動法人 日本医学図書館協会
一般財団法人 日本情報経済社会推進協会
社団法人 日本図書館協会

INFOPRO2011 タイムテーブル

2011年10月27日(木)

発表演題は仮題ですので変更する場合があります

	A会場 みらいCANホール		B会場 会議室2		C会場 会議室1	
13:00~14:55	セッションA1 アジア特許 (座長:徳野 肇)		セッションB1 情報システム・流通1 (座長:林 和弘)		プロダクト・レビュー1	
13:00~13:25	A11	早期公開・登録および遅延公開をめぐる東アジア各国の諸問題	B11	CrossCheckを利用した論文執筆の不正の検出とその対応について	P11	株式会社サンメディア
13:30~13:55	A12	中国特許データベース新CNIPRの徹底活用	B12	電子ジャーナルの利用規約を考える	P12	ユサコ㈱
14:00~14:25	A13	アジア特許情報のテキストマイニングによる解析	B13	NLM DTD から JATS へ	P13	トムソン・ロイター
14:30~14:55	A14	中国特許情報を基に、提携先選定方法の提案	B14	リンクでつなげよう！国内情報サービス	P14	シュプリンガー・ジャパン㈱
14:55~15:30	休 憩					
15:30~17:00	特別講演 「はやぶさ」が挑んだ人類初の往復の宇宙旅行、その7年間の歩み					

17:30~19:30	情報交流会(於:レストラン)
-------------	----------------

2011年10月28日(金)

	A会場 みらいCANホール		B会場 会議室2		C会場 会議室1	
10:00~12:30	トーク&トーク A あなたの会社の特許・知財活動を評価する!?		トーク&トーク B 電子書籍の浸透を阻むものは何か			
12:30~13:30	休 憩					
13:30~15:20	セッションA2 情報検索 (座長:下川 公子)		セッションB2 情報システム・流通2 (座長:増田 豊)		プロダクト・レビュー2	
13:30~13:55	A21	電子公開全文検索時代の特許調査の注意	B21	日本コンピュータ化学会論文誌におけるXML形式への移行	P21	(社)化学情報協会
14:00~14:25	A22	英語・原語によるハイブリット検索	B22	J-STAGE3の開発と国内学協会誌の電子化状況について	P22	NPO 医学中央雑誌刊行会
14:30~14:55	A23	エンタープライズサーチ導入における検索機能と投資効率に関する考察	B23	J-GLOBAL foresightの構築について	P23	JSTバイオサイエンスデータベースセンター
15:00~15:20					P24	JST情報提供部
15:20~15:30	休 憩					
15:30~16:55	セッションA3 Webサイトの活用 (座長:徳野 肇)		セッションB3 情報サービス (座長:林 佐和子)		セッションG3 情報教育 (座長:山崎 久道)	
15:30~15:55	A31	日米における訴訟情報の調査手法	B31	データベースの利用者教育におけるウェブナビの効用と課題	C31	学生の学習姿勢を向上させる協調学習
16:00~16:25	A32	化合物の安全性(毒性)評価情報の効率的な収集方法	B32	日本の大学図書館におけるデータベースの購読状況	C32	Webサービスを利用した教材製作技術の支援と評価
16:30~16:55			B33	情報サービスの利用・非利用の要因の仮説と分析	C33	政府系公開情報のドキュメンテーション

*特許調査相談コーナーの開設

28日(金)に展示コーナー内に開設します。(相談時間は12時30分~13時30分、14時30分~16時30分です)

特許調査、データベース、検索ツール、検索技術などについてお気軽にご相談下さい。

経験と実績のあるベテラン調査担当者が相談員として対応致します。

特定案件の特許検索や特許実務の詳細については範囲外とします。無料。事前申込不要です。

第1日目 10月27日(木)

A会場 みらいCANホール

○は会場発表者、敬称略

13:00~14:55 セッションA1 アジア特許
座長 徳野 肇 ((株)三菱化学テクノロジー)

演題A11 早期公開・登録および遅延公開をめぐる東アジア各国の諸問題

日本バルカー工業(株) ○吉居 未来
オリンパスメディカルシステムズ(株) 中西 昌弘
アジア特許情報研究会 伊藤 徹男

演題A12 中国特許データベース新CNIPRの徹底活用

(株)神戸製鋼所 ○石田 政司
(株)アイピックス 水町 保宏
東ソー(株) 沖 祥嘉
日本バルカー工業(株) 吉居 未来
富士フイルム(株) 田畑 文也

演題A13 アジア特許情報のテキストマイニングによる解析

ー 自動テキスト分類への挑戦 ー
花王(株) ○安藤 俊幸
オリンパスメディカルシステムズ(株) 中西 昌弘
ユーエムジー・エービーエス(株) 道中 孝徳
富士フイルム(株) 多田 幸輔

演題A14 中国特許情報を基に、提携先選定方法の提案

ー 5年後中国において、太陽電池モジュールを製造するとして、どの企業と
提携するのが良いか ー
昭和シェル石油(株) ○太細 博利
MRCテクノロジー(株) 脇阪 幸也
(株)レイテック 陳 璐

14:55~15:30 休憩

15:30~17:00 特別講演 「はやぶさ」が挑んだ人類初の往復
の宇宙旅行、その7年間の歩み

講師 川口淳一郎氏 独立行政法人宇宙航空研究開発機構

17:30~19:30 情報交流会 会場: レストラン

B会場 会議室2

○は会場発表者、敬称略

13:00~14:55 セッションB1 情報システム・流通1
座長 林 和弘 ((社)日本化学会)

演題B11 CrossCheckを利用した論文執筆の不正の検出とその対応について
- J-STAGE利用学会による導入検討事例 -
日本疫学会誌編集事務局、杏林舎
独立行政法人科学技術振興機構
○橋本 勝美
久保田壮一、張 朔

演題B12 電子ジャーナルの利用規約を考える
- 論文のよりよい流通と利用のために -
独立行政法人科学技術振興機構
日高 真子

演題B13 NLM DTD から JATS へ
- 学術論文から多言語 XML 作成 -
愛知大学
(株)アトラス
アルテック(株)
国立情報学研究所
小宮山印刷工業(株)
三美印刷(株)
(株)サンビプロダクトセンター
中西印刷(株)
社団法人日本化学会、科学技術政策研究所
日本プリプレス(株)
○時実 象一
井津井 豪、近藤 裕治
鶴貝 和樹、三上 修
野沢 孝一、堀内 和彦
大山 敬三
家入 千晶、小宮山恒敏
稲田 隆、竹中 義朗
黒見 英利
亀井 賢二、楠 健一
中西 秀彦
林 和弘
佐藤 博

演題B14 リンクでつなげよう！国内情報サービス
- ジャパンリンクセンターの開発 -
独立行政法人科学技術振興機構
○張 朔、久保田壮一
加藤 斉史、宮川 謹至

C会場 会議室1

13:00~14:55 プロダクト・レビュー1 司会：田村 紀光((社)情報科学技術協会)

P11 ウェブスケール・ディスカバリー Summon(サモン)
株式会社サンメディア

P12 MetaLib+ MetaLibユーザ向け クラウドベースのPrimoサービス
ユサコ株式会社

P13 Thomson Innovation
トムソン・ロイター

P14 新製品 SpringerReferenceのご案内
シュプリンガー・ジャパン株式会社

特別講演

「はやぶさ」が挑んだ人類初の往復の宇宙飛行、その7年間の歩み

10月27日(木) 15:30~17:00

講師 川口 淳一郎 氏

独立行政法人宇宙航空研究開発機構
月・惑星探査プログラムグループプログラム ディレクター
宇宙科学研究所宇宙航行システム研究系 教授

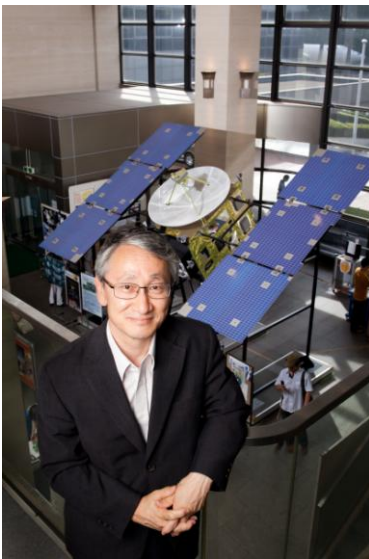


宇宙工学者、工学博士。1978年 京都大学工学部卒業後、東京大学大学院工学系研究科航空学専攻博士課程を修了し、旧文部省宇宙科学研究所に助手として着任、2000年に教授に就任。

現在、独立行政法人宇宙航空研究開発機構宇宙科学研究所 (ISAS/JAXA) 宇宙航行システム研究系教授、研究主幹、月・惑星探査プログラムグループ (JSPEC/JAXA) プログラムディレクターを務める。

また、ハレー彗星探査機「さきがけ」、工学実験衛星「ひてん」、火星探査機「のぞみ」などのミッションに携わり、小惑星探査機「はやぶさ」では、プロジェクトマネージャを務めている。

■講演概要



「はやぶさ」が実証した地球引力圏外の天体へ着陸し、往復して帰還した宇宙飛行は、人類未到の挑戦でした。「はやぶさ」は、昨年6月13日、その宇宙飛行を終え、オーストラリアのウーメラ砂漠地帯に帰還し、試料回収カプセルを無事降下・回収することに成功しました。

「はやぶさ」は、その飛行中、数々の故障や困難に直面しましたが、プロジェクトのメンバ全員がよくそのミッションの目的を共有し、そして高いモチベーションをもって率先して取り組み、このことが地球帰還の成功へと繋がりました。

この講演では、打ち上げから帰還までの7年間の飛行運用をふりかえり、色々な局面で得られた苦心や教訓を紹介し、成果を次世代へ繋げる方法、新たな構想を立ち上げるのに必要な取り組み方などについて述べたいと思います。

トーク & トーク A

「あなたの会社の特許・知財活動を評価する!?!」

10月28日(金) 10:00~12:30 (A会場)

情報のプロフェッショナルが、よりアクティブに業務に関わっていくための元気づけや、方向性の確認のために、今回は特に、特許や知財の活動に関わるデータの知財戦略・企業経営への活用という方向に焦点を絞り、知財情報を研究されている方や知財の実務担当者の方々を話題提供者としてお招きしました。

それぞれのお立場からまず、その活動事例、成功事例などを20分程度紹介いただきます。これらの話題をきっかけに会場参加者との間で質疑・討議を展開し、参加者が今回のテーマである「あなたの会社の特許・知財活動を評価する!?!」をキーワードに、元気が得られ、モチベーションを高め、あるいは存在意義の向上のための活動に結びつくような、熱い議論の場を提供したいと考えています。

話題提供者と話題 (予定)(50音順)

石井 康之 氏(東京理科大学)

- ・企業の研究開発費と知財知財指標の関係などについて
- ・知財人材の活用レベルについて思うこと
- ・知財の情報担当に望まれていること

国司 洋介 氏(信越ポリマー(株))

- ・知財の実務担当が考える知財活動と経営との係わり、経営層への情報提供について
- ・外部の知財評価・ランキングと企業内評価のギャップの要因について
- ・知財の情報担当者に求められている(不足している)と思う観点、スキルなど

見上 孝一 氏(住友重機工業(株))

- ・知財の実務担当が考える知財活動と経営との係わり、経営層への情報提供について
- ・知財の情報担当者に求められている(不足している)と思う観点、スキルなど

米山 茂美 氏(科学技術政策研究所)

- ・経営的な観点から知財情報担当者に期待すること
- ・知財戦略と事業戦略との関係について
- ・イノベーションと利益のための知財部のかかわりについて

コーディネーター

徳野 肇 氏((株)三菱化学テクニサーチ)

下川公子氏(味の素(株))

トーク&トーク B

「電子書籍の浸透を阻むものは何か」

10月28日(金) 10:00~12:30 (B会場)

昨年のiPadブームでいよいよ到来かと言われた電子書籍ですが、インフォプロの周りでその利用や効果が積極的に語られている状況ではありません。一方アメリカではすでに公共図書館によっては Kindle を利用した電子書籍の貸し借りを始めている状況であり、日本でも携帯小説や漫画などを中心とした方面で一定の浸透が見られています。一般的に見て電子書籍の浸透自体はやはり時間の問題と見てよいでしょう。

今回、特に企業や大学の研究・開発に観点を絞り、電子書籍の現状を把握しつつ、日本での電子書籍の導入を阻む障壁と、その障壁をどうしたら取り除けるのか、この点を中心とした議論を実務者の話題提供を軸にフロアも交えて行ってみたいと思います。

話題提供者と話題 (50音順)

新井克久氏(シュプリンガー・ジャパン(株))

- ・シュプリンガー・イーブックス世界での普及の現状

シュプリンガーでは2005年以降発行の約40,000タイトルの電子書籍をオリジナルプラットフォーム「シュプリンガー・リンク」上で閲覧可能としています。2005年のリリース当初と比較するとここ2,3年のイーブックス利用の伸びは目覚ましいものがあり2005年コレクションから全分野を導入しているある大学ではシュプリンガーリンク全体の利用の約4割を占めるという事例もあります。本セミナーではシュプリンガーのグローバルマーケットポジションやグローバルの利用傾向等をご紹介します。

入江伸氏(慶應義塾大学メディアセンター本部)

- ・慶應義塾大学図書館における電子学術書利用実験プロジェクト

2010年度から2年計画で進めているこのプロジェクトは、学術出版社 大日本印刷 京セラコミュニケーションシステムと協力し、電子書籍とプラットフォームを開発、実際に学生に利用してもらい評価と要望、動向についての実験を行うものである。

この成果を活用し、国内における学術書籍の電子化を阻害している要因を排除し、電子書籍を推進しようというものである。ここでは、学生の電子書籍の要望や利用動向を中心に報告し、これからの電子書籍プラットフォームの方向を考えたい。

新田英直氏(株)紀伊國屋書店)

- ・NetLibrary を通じた学術図書館への電子書籍浸透の課題

日本語コンテンツの扱いを始めて4年間の経験から見えてきた事。

図書館から期待されるコンテンツと出版社から提供を受かれるコンテンツの隔たりについて。

または、図書館から評価されるコンテンツから予測される、学術系電子書籍の可能性について。

コーディネーター

林和弘氏(日本化学会) / 増田豊氏(ユサコ(株)) /

平野圭子氏(ケンブリッジ・ユニバーシティープレス・ジャパン)

10:00~12:30 トーク&トーク A

あなたの会社の特許・知財活動を評価する!?

12:30~13:30 休憩

13:30~14:55 セッションA2 情報検索
座長 下川 公子 (味の素(株))

演題A21 電子公報全文検索時代の特許調査の注意点
- 非OCR特許データの検索精度をさらに上げるために -
(株)三菱化学テクノリサーチ 山崎 勇二

演題A22 英語・原語によるハイブリット検索
- PatBase,QPAT(Orbit.com),Discoverによる英語・原語ハイブリット検索の検討 -
富士フイルム(株) ○田畑 文也
(株)神戸製鋼所 石田 政司
(株)アイビックス 水町 保宏

演題A23 エンタープライズサーチ導入における検索機能と投資効率に関する考察
- 何をもちてその検索システムの導入を良しとするのか? -
関西電力 池田 利夫

14:55~15:30 休憩

15:30~16:25 セッションA3 Webサイトの活用
座長 徳野 肇 ((株)三菱化学テクノリサーチ)

演題A31 日米における訴訟情報の調査手法
科研製薬(株) ○松本 光司
味の素製薬(株) 今井 奈月
興和(株) 鶴森 熊子
大日本住友製薬(株) 谷為 昌彦
富山化学工業(株) 河村 光偉
持田製薬(株) 池田 元子

演題A32 化合物の安全性(毒性)評価情報の効率的な収集方法
- 無料Webサイトとポータルサイトの活用ノウハウ -
ゼリア新薬工業(株) ○高橋 和之
味の素(株) 下川 公子
アステラスビジネスサービス(株) 大野 薫、山本富美子
(株)住化技術情報センター 岡 紀子
田辺三菱製薬(株) 加藤千賀子、小島 史照

10:00~12:30 トーク&トーク B

電子書籍の浸透を阻むものは何か

12:30~13:30 休憩

13:30~14:55 セッションB2 情報システム・流通2
座長 増田 豊 (ユサコ(株))

演題B21 日本コンピュータ化学会論文誌におけるXML形式への移行
 埼玉大学 大学院理工学研究科 ○太刀川達也、中村 恵子
 日本プリプレス(株) 佐藤 博
 アルテックエンジニア(株) 野沢 孝一
 兵庫県立大学 中野 英彦
 豊橋技術科学大学大学院 工学研究科 後藤 仁志

演題B22 J-STAGE3の開発と国内学協会誌の電子化状況について
 独立行政法人科学技術振興機構 ○佐藤 竜一、宮川 謹至
 久保田壮一、土屋 江里
 青山 幸太

演題B23 J-GLOBAL foresightの構築について
 独立行政法人科学技術振興機構 治部 眞里

14:55~15:30 休憩

15:30~16:55 セッションB3 情報サービス
座長 林 佐和子 (克誠堂出版)

演題B31 データベースの利用者教育におけるウェビナーの効用と課題
 - 多様化する利用者のニーズと時間と空間を超えたコミュニケーション
 トムソン・ロイター 矢田 俊文

演題B32 日本の大学図書館におけるデータベースの購読状況
 愛知大学 ○時実 象一、蕪城有未子

演題B33 情報サービスの利用・非利用の要因の仮説と分析
 - 公共図書館の利用者・非利用者のインタビューとアンケートによる実態調査と分析 -
 中央大学大学院 文学研究科 長谷川幸代

10:00
↓
12:30 トーク&トーク A「あなたの会社の特許・知財活動を評価する!？」 (A会場)

10:00
↓
12:30 トーク&トーク B「電子書籍の浸透を阻むものは何か」 (B会場)

12:30~13:30 休憩

13:30~15:20 プロダクト・レビュー2 司会：田村 紀光((社)情報科学技術協会)

- P21 SciFinder(Web版)の新機能「SciPlanner」
社団法人化学情報協会
- P22 医中誌Web Ver.5のご案内
特定非営利活動法人 医学中央雑誌刊行会
- P23 散在する生命科学データベースを手軽に利用する
独立行政法人 科学技術振興機構 バイオサイエンスデータベースセンター
- P24 平成23年度JDreamII新機能のご紹介
独立行政法人 科学技術振興機構 情報提供部

15:20~15:30 休憩

15:30~16:55 セッションC3 情報教育
座長 山崎 久道 (中央大学)

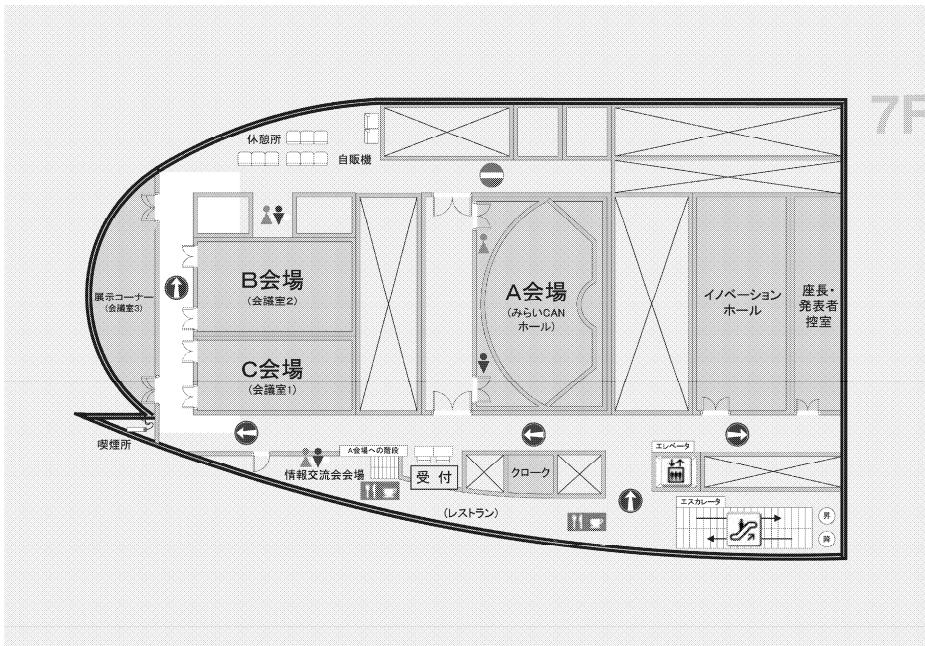
演題C31 学生の学習姿勢を向上させる協調学習
 - Webベースの学生の学習姿勢向上支援システムの試作 -
 名古屋工業大学大学院 ○橋本 創、喜饒 嘉措
 鈴鹿短期大学 田中 雅章
 名古屋工業大学大学院 伊藤 孝行
 東京大学政策ビジョンセンター
 名古屋工業大学グリーン・コンピューティング研究所
 内閣府最先端・次世代研究開発プロジェクト

演題C32 Webサービスを利用した教材製作技術の支援と評価
 鈴鹿短期大学 ○田中 雅章
 東京理科大学 大森 晃

演題C33 政府系公開情報のドクメンテーション
 - 特許権存続期間延長情報データベースの構築 -
 ゼリア新薬工業(株) ○吉野 孝
 はやぶさ国際特許事務所 川島 順
 一般財団法人日本特許情報機構 藤城 享、桐山 勉
 大阪工業大学大学院 知的財産研究科 都築 泉
 日科情報(株) 長谷川正好、田中 宣郎
 田中貴金属工業(株) 栗原 健一

会場案内図

日本科学未来館 7階 (1階エレベーターをお使いください)



7F

A会場 (みらいCANホール)

- 特別講演
- トーク&トーク
- 研究・事例発表

B会場 (会議室2)

- 研究・事例発表

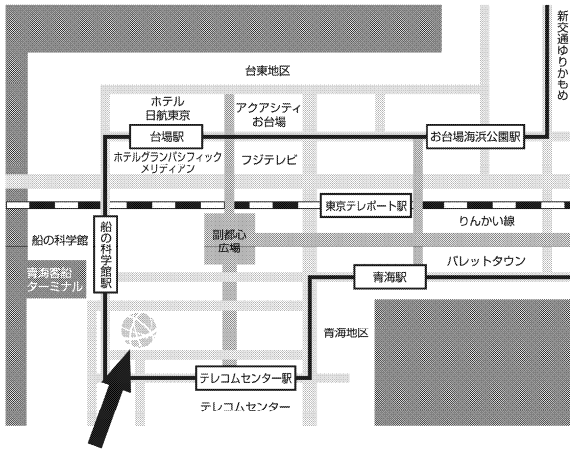
C会場 (会議室1)

- 研究・事例発表
- プロダクトレビュー

展示コーナー (会議室3)

会場へのアクセス

東京都江東区青海2丁目41番3



電車

■ 新交通ゆりかもめ (新橋駅～豊洲駅)

「船の科学館駅」下車、徒歩約5分

「テレコムセンター駅」下車、徒歩約4分

■ 東京臨海高速鉄道りんかい線 (新木場駅～大崎駅)

「東京テレポート駅」下車、徒歩15分

都バス

■ JR浜松町駅より

虹01 (浜松町駅～国際展示場前駅) 「日本科学未来館前」下車

■ 東京メトロ東西線門前仲町駅より

海01 (門前仲町～東京テレポート駅前) 「日本科学未来館前」下車

京急バス

■ JR大井町駅より

井30 (大井町駅～船の科学館前) 「船の科学館前」下車

■ JR大森駅より

森30 (大森駅～大森海岸線～船の科学館前) 「テレコムセンター駅前」下車

森40 (大森駅～平和島駅～船の科学館前) 「テレコムセンター駅前」下車

船

■ 水上バス

(日の出桟橋～船の科学館) 約25分 「船の科学館」下船

(しながわ水族館～大井海浜公園～船の科学館) 約25分 「船の科学館」下船

車

■ 横浜・川崎・大井・品川方面

首都高速湾岸線 東京湾トンネル通過後、13号地ランプより1.2Km

■ 箱崎(都心)・小管・千梨方面

首都高速湾岸線 有明ランプより直進3Km

■ 竹芝・芝浦方面

首都高速11号線 台場ランプより約2Km

臨港道路(レインボーブリッジ下層)を通り、台場出口より約1.8Km

□参加費（予稿集代、2日間共通）

シンポジウム聴講： 一般：6,300円 学生：2,100円（消費税込み）

情報交流会：4,200円（消費税込み）

□参加申込み方法

参加申込受付フォーム (<http://www.dicalpha.net/infopro/>) もしくは別紙の「参加申込用紙」でお申し込みください。

独立行政法人
科学技術振興機構
Japan Science and Technology Agency (JST)

〒102-8666 東京都千代田区四番町5-3
情報提供部 広報普及担当
TEL : 03-5214-8493 FAX: 03-3230-1818

社団法人
情報科学技術協会
Information Science and Technology Association
(INFOSTA)

〒112-0002 東京都文京区小石川2-5-7
佐佐木ビル
TEL : 03-3813-3791 FAX : 03-3813-3793
E-mail : sympo@infosta.or.jp

参加申込は、
以下の参加申込受付フォーム
<http://www.dicalpha.net/infopro/>

プログラムは、
以下のINFOSTAホームページ
<http://www.infosta.or.jp/symposium/infopro2011program.pdf>